

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二権の実子供の家
日時	令和6年6月7日 10時15分～11時05分

1. 活動テーマ

<テーマ>

2～5歳児 『音と出会おう!』

<テーマの設定理由>

- 毎年、園行事にてピアニストを呼んで、ピアノの訪問演奏会を行っている。
- ピアニストのピアノの音色を聞き、五感を養う。
- 生の音楽を聞くことを通して、音楽本来の魅力を知る。
- 生演奏を聞くことで、全身で音を感じる。

2. 活動スケジュール

- 2～5歳児クラスがホールに集まる。
- 乳児クラスは子どもの様子を見ながら参加をする。
- 10時15分～11時05分

3. 探究活動の実践

<活動の為に準備した素材や道具、環境の設定>

- ピアノ ・カメラ ・iPad ・絵本（だるまさんがころんだ）
- プロジェクター ・マイク ・延長コード ・音響スピーカー ・オルゴール
- ピアニスト中川賢一さん

<活動の内容>

- ピアニストのピアノの音色を聴く。
- ピアノに合わせて歌を歌ったり、体を使ってリズムを感じたり、表現したりする。
- ピアノの構造、音が鳴る仕組みを知る。
- ピアノに触れて「ビリビリ体験（ピアノの音の響きを手で感じる）」をする。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

- (薄暗い部屋でピアノの音色を聴いて)「なんだか眠たくなってきちゃった」「気持ちがいいね」「目を瞑ると音をもっと聴こえるよ」
- ピアノのフレームを外していくと子ども達も普段見ることがないピアノの内部を見て歓声や驚きの声を上げていた。
- リズミカルな演奏を聴いている時は子ども達の体も自然とリズムにのって動いていた。
- ピアノの弦を見たり、ピアノの後ろに触れると音の響きを手で感じる事ができた。
「(手が)ビリビリした」「耳がびっくりした」
「(ピアノに)触るのちょっと怖いな」
- (オルゴールを響板にあてると)「音が大きくなった!」「小さくなった!」
「なんで音が大きくなるんだろう?」



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 真っ黒いピアノの内部を見たり、構造を知ることによりピアノへの興味が大きくなっていったと思う。
- ピアノの音の表現によって子ども達の受け止め方も変化していた。大きな音は驚いたり、気持ちが高揚したりしていたが小さな音の時には音に集中して聴いている様子が見られた。

- 音を聴くだけでなく、リズムを感じたり、体で表現したりすることも楽しんでいた。また、「手がビリビリした」「耳がびっくりした」と五感で音を感じながら楽しんでいた。
- 保育者のピアノ演奏と異なり、ピアニストを招いてプロの演奏を聴くことは貴重な体験をすることができた。